

令和5年度 全国学力・学習状況調査 江南市結果

江南市教育委員会

市内の小学校6年生と中学校3年生の全児童生徒を対象に、令和5年4月18日（火）に行われました全国学力・学習状況調査から見られる特徴の中で、代表的なものを紹介します。

江南市教育委員会では、「児童生徒がよりよい生活をするために」、学力との関連を考慮し、生活習慣について見直していきたいと考えています。

【小学校6年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内小学校10校の全体の状況を示します。

ここでは、調査結果から見られる特徴について、代表的なものを示します。

- ※ ○は、調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと
- ※ ●は、課題としてとらえ、指導に力を注いでいきたいこと

■ 1 学力の高い児童の生活態度

- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)
- ・ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強をしている。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- ・ 新聞を週に1～3回程度以上読んでいる。
- ・ 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。

■ 2 質問紙調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童の割合は非常に高い。
- これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があったと回答した児童の割合は高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上読書をする（電子書籍も含む。教科書、参考書、漫画、雑誌は除く）と回答した児童の割合はやや高い。
- 将来の夢や目標を持っていると答えた児童の割合は低い。

■ 3 教科に関する調査の結果分析

国語	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。 「筋力を高める運動」は「瞬間的に大きな力を出す」ものであることを資料から捉え、その例が「腹筋運動」と「腕立てふせ」であることを別の資料から捉え、分かったことをまとめた【メモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する。○ 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえることができる。 【インタビューの様子】を読み、「～ということだと思いますが、合っていますか。」という質問が、自分の理解が正しいかどうかについて相手に確かめるためのものであることを捉え、質問をした理由として適切なものを選択する。● 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く。
算数	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。 (151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める。○ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。 椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く。● 百分率で表された割合について理解している。 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ。

【中学校3年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内中学校5校の全体の状況を示します。
ここでは、調査結果から見られる特徴について、代表的なものを示します。

- ※ ○は、調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと
- ※ ●は、課題としてとらえ、指導に力を注いでいきたいこと

■ 1 学力の高い生徒の生活態度

- ・ 新聞を週に1～3回程度以上読んでいる。
- ・ 読書が好きである。
- ・ 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- ・ 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・ 授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

■ 2 質問紙調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使ったと回答した生徒の割合は非常に高い。
- 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した生徒の割合は非常に高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した生徒の割合はやや高い。
- 新聞を週に1～3回程度以上読んでいると回答した生徒の割合はやや高い。
- 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思うと回答した生徒の割合は非常に低い。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと回答した生徒の割合は非常に低い。

■ 3 教科に関する調査の結果

国語	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。 「判じ絵」の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く。○ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。● 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 2つの文章を読み、それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する。
数学	<p>平均正答率は、全国より高い。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 四分位範囲の意味を理解している。 1961年～1975年の四分位範囲を求める。○ 累積度数の意味を理解している。 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める。● ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。 2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明する。
英語	<p>平均正答率は、全国よりやや高い。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する。○ 社会的な話題について、短い文章の要点をとらえることができる。 ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する。● 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる。 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する。

お願い

この調査で測定した力は、学力の一部です。家庭や地域では、子どもの得意なこと、不得意なことを知り、生活に意欲がもてるような励ましをお願いします。